

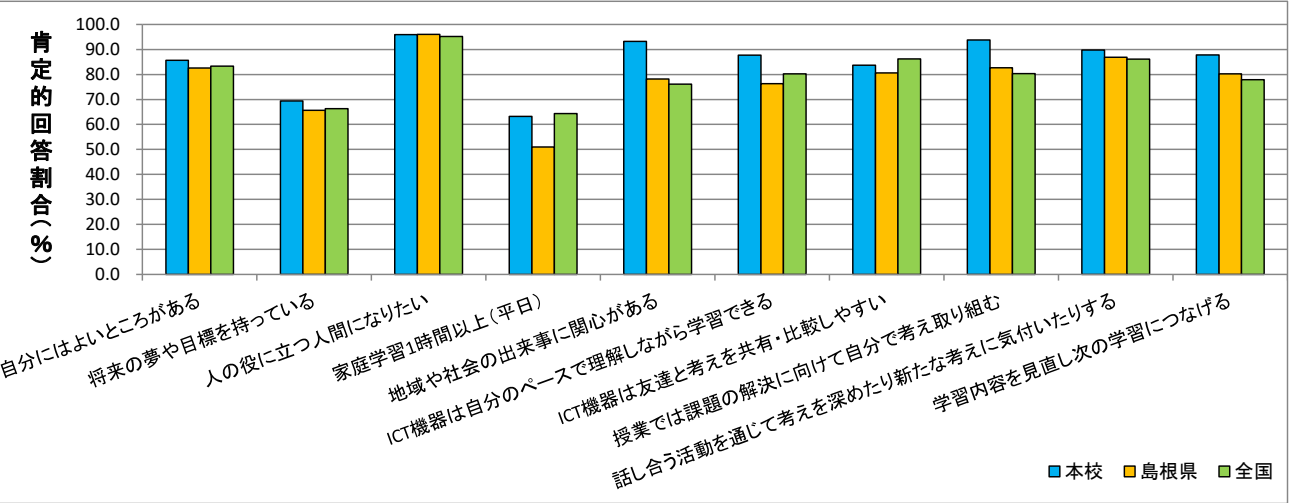
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○要約問題の正答率は比較的高い。 ●無解答率が高い。 ●要約以外の問題の正答率はおしなべて低い。 ●問題文を適切に読み取り、問われていることを正確に把握できていない生徒が少なくない。	・漢字や表現技法などの基礎的な知識が身につくよう、くり返し学習する。 ・他教科の授業でも話し合い活動を多く取り入れたり、生活ノートの指導をさらに充実させたりする。 ・文章を要約する練習を重ねていく。
数学	○今まで学習してきたことを使い、解答しようと努力している。無解答率が低い。 ●文字を使うなど、抽象的に表現することに苦手意識をもっている。実際の数を使って説明する傾向がある。 ●グラフや箱ひげ図・表からの読み取りが弱い。 ●計算はできるが、式の成り立ちを理解できていない。	・式の成り立ち、式のもつ意味をくり返し説明する。 ・グラフや表、図から情報を得る練習を行う。 ・抽象的表現の良さを示す。

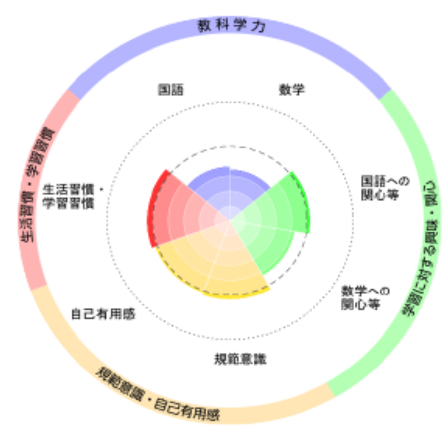
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○多くの項目において、全国平均を上回る結果となっている。 ○ICTの活用が個別最適な学びにつながっている。 ○自身を肯定的に捉え、将来への夢や目標を持っている。 ●ICTの活用によってより多くの意見を参考にし、考えを深めることができるという意識に至っていない。	・ICTの活用をタブレットドリルやまとめ学習だけでなく、意見を共有・比較するなどし、学びを深めるための活用をしていく。

(3)質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・文章や式の成り立ちなどを理解できるよう、基礎的な知識をくり返し学習していく。
・他者の意見や思考を共有できるよう、班活動やICT活用の工夫をし、見方や考え方を深めたり、学習への意欲を高めたりする。
・進路実現に向け具体的な目標や課題を設定し、学習に向かうことができるようにする。

【受検者数】
49 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。